

強固にして、夏場の空調機器にかかるエネルギー使用量や電気料金、二酸化炭素(CO₂)排出量をどれだけ減らせるかを数値化できる「シミュレーションソフト」などを活用しながら、市場拡大が

特殊樹脂・塗料メーカーのトーチ(東京都品川区、塘地守社長)。1982年の創業以来、原料の樹脂から製品までを自社で開発・生産できる強みを生かし、高付加価値製品市場で異彩を放ってきた。

トーチの強み、特徴とはなにか。そう水に向けると、塘地専副社長は「光触媒塗

料は超耐候性を実現。15~20年と長期間にわたって遮熱効果を維持させることができる。グループ会社を通じて責任施工するなど、遮熱塗料の製造から塗装までを一

武蔵塗料は低価格塗料の開発を進め、海外市場に投入していく。中国をはじめとしたアジアでは現地の新興塗料メーカー

が台頭し、低価格品の市場投入でシェアを高めている。プラスチック用塗料大手の同社ではこれを背景に、日本の開発部

隊を中国に派遣し低価格品開発を進めるなどの対応を推進。スベックを落とし、原材の現地調達と安い人件費を武器に低価格品を投入し、シェアを高めている。

武蔵塗料はこれに対抗するため、昨年から日本

ファイイン・スペシヤリテイ

トーチ

ファイイン企業群 探訪

料や遮熱塗料など塗料の高機能化が注目されがちな中、塗料にとって最も重要なことは、きちんと塗膜を形成することと切り出した。当然だが、対象物に塗料を付着させることができない場合は、防錆も耐熱も施し

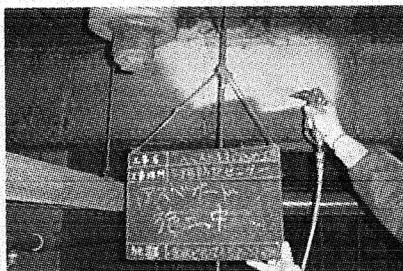
ようがない。同社は独自に樹脂開発を手掛け、塗膜を形成しにくい対象物にも塗料を付着してきた実績を持つ。

同社は独自開発のポリオレフィン樹脂とステンレス状の被膜「ステンレスピクメント(SUS316L)」を配合することで、劣化により表面に露出したガラス繊維を封じ込め、光や空気を遮断し、水質の悪化や藻・雑菌の繁殖防止に成功した。80年代半ばに開発したタンクステンコートは、以

後、学校やビル、マンションなどさまざまなところで使用され、コーティング後、20年近く経過した貯水槽にも目立った劣化は認められないという。同社は創業時から、ポリプロピレン(PP)やポリエチレン(PE)など塗料が付着できないといわれていたところに適合する下地処理不要の塗料開発を得意としてきたが、それがあらゆる製品に生きている。

同社の水溶性厚膜形成石綿飛散防止剤「封じ込め剤」の「アスベガード」(商品名)もその1つだろう。2000年代に社会問題化する以前から、同社はアスベスト(石綿)と格闘を続けてきた。80年初期、顧客から塗

装が困難だとの依頼を受け、健康被害をもたらす発がん性物質とは認識せず、アスベスト用塗料の開発を進めてきたのだ。現在では、国土交通省の認定も受けた独自開発の特殊樹脂を開発し、吹き付け塗装により下



「アスベガード」施工の様子

樹脂・塗料開発で異彩放つ



塘地副社長

着かない所に着ける 技術

特殊樹脂・塗料メーカーのトーチ(東京都品川区、塘地守社長)。1982年の創業以来、原料の樹脂から製品までを自社で開発・生産できる強みを生かし、高付加価値製品市場で異彩を放ってきた。

トーチの強み、特徴とはなにか。そう水に向けると、塘地専副社長は「光触媒塗

料は超耐候性を實現。15~20年と長期間にわたって遮熱効果を維持させることができる。グループ会社を通じて責任施工するなど、遮熱塗料の製造から塗装までを一

武蔵塗料は低価格塗料の開発を進め、海外市場に投入していく。中国をはじめとしたアジアでは現地の新興塗料メーカー

が台頭し、低価格品の市場投入でシェアを高めている。プラスチック用塗料大手の同社ではこれを背景に、日本の開発部

隊を中国に派遣し低価格品開発を進めるなどの対応を推進。スベックを落とし、原材の現地調達と安い人件費を武器に低価格品を投入し、シェアを高めている。

武蔵塗料はこれに対抗するため、昨年から日本

- ◆ 本社 = 東京都品川区西五反田5丁目4番5号
- ◆ 研究所 = 神奈川県横浜市鶴見区
- ◆ 事業概要 = 特殊樹脂・塗料の開発及び製造・販売
- ◆ 創業 = 1982年9月
- ◆ 従業員数 = 約15人